

令和7年11月23日

(一社) 日本健康相談活動学会 会員の皆様

(一社) 日本健康相談活動学会理事長 大沼 久美子

同編集委員会委員長 鎌塚 優子

日本健康相談活動学会誌第21巻第2号の【特別報告】の原稿募集について

平素は本学会の活動にご協力いただき、感謝申し上げます。

さて、下記の通り日本健康相談活動学会誌第21巻第2号の【特別報告】の原稿を募集いたします。会員の皆様の実践等について是非、ご報告いただきますようお願い申し上げます。

記

1. テーマ

「多様な子供と向き合う健康相談活動ー学校現場での実践と課題ー」

2. テーマ設定の背景

子どもを取り巻くグローバルな課題や、多文化・多様な価値観をどのように捉え、学校における健康相談活動へとつなげていくかを探るとともに、学校・家庭・地域・社会が連携し、すべての子どもが心身ともに健やかに成長できるための支援のあり方を考えることを目的として、第21巻のメインテーマを「グローバル化社会が直面する子供の健康課題」としました。第1号では理論編として、サブテーマを「グローバル化と健康相談活動ー人権・就労・医療の視点からの再考ー」とし、国際人権、就労支援、医療・メンタルヘルスなど多様な専門分野の視点から、子供の健康を守るために学校が取り組むべき支援のあり方について理論的に検討する予定です。

これを受け、第2号では実践編として、学校現場における多様な文化的・社会的背景をもつ子供たちへの支援を中心に、健康相談活動における工夫や連携の実践を共有する原稿を募集いたします。

3. 募集原稿について

- ・A4版、文字サイズ9フォント、横書き2段組で、図及び表を含めて3～5頁
- ・原稿の締め切りは2026年5月31日（日）
- ・「査読付き」とします。投稿論文とは異なり、厳重な査読はいたしません。執筆者間の調整や原稿全体の体裁、テーマとの一貫性を鑑み、編集委員から再度、執筆内容及び分量について修正の検討をいただく可能性があります。

4. 募集の流れ

- ・学会ホームページ内の「特別報告原稿応募シート」をダウンロードし、必要事項を記入の上、メールに添付し、件名「特別報告応募」で、編集委員会までお送りください。
- ・募集期間 2025年11月24日（月）～2026年1月5日（月）
- ・編集委員会で執筆者を3～4名程度決定し、個別に結果をご連絡いたします。また、執筆決定者には、2026年1月中旬に執筆依頼書と執筆要領等を送付いたします。

5. 問い合わせ先及び応募先：(一社) 日本健康相談活動学会編集委員会 edit@jahca.org